



佐藤紅緑と馬

作家 と どうぶつ

令和7年12月6日(土)~令和8年3月22日(日)

寺山修司と犬

北畠八穂と猫

青森県近代文学館

青森市荒川字藤戸119-7(青森県立図書館2階) TEL 017-739-2575

※休館日:12月25日(木)・12月29日(月)~1月3日(土)・1月14日(水)・1月22日(木)・2月26日(木)・3月11日(水)

9:00~17:00

入館無料



<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/bungakukan/>

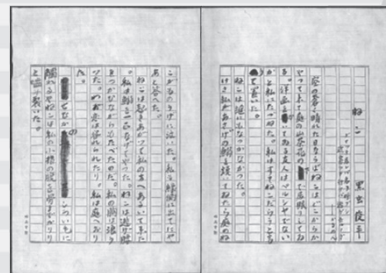
青森県ゆかりの作家が書いた動物にかかわる文学作品や、作家と動物とのエピソードなどを幅広く紹介します！



● 太宰治と原稿「ねこ」
「太宰治」という筆名を使い始める前の作品です。

● 馬場のぼると「11ぴきのねこ」シリーズ
長年にわたって愛され続けるねこたちの絵本です。

● 九條今日子と「猫コレクション」 ※テラヤマ・ワールドより借用
猫好きであった九條今日子は「天井桟敷」の海外公演などの際、寺山修司と猫のグッズを買い求めました。



太宰治(黒虫俊平) 原稿「ねこ」



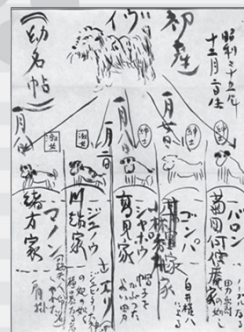
● 菊岡久利と鎌倉文士の犬たち
菊岡久利が飼っていた愛犬の子供たちは、川端康成や小林秀雄といった鎌倉文士たちに貰われていきました。

● 石坂洋次郎と愛犬たち
石坂洋次郎は生涯にわたって犬を飼い続けました。

● 安岡章太郎と犬
弘前の小学校に通っていた安岡章太郎は犬好きでした。

愛犬イヴの子供たちが、どの家に貰われていったのかが示されている。鎌倉文士の小林秀雄、高見順、川端康成や、詩人の緒方昇らの家に貰われたことがわかる。

菊岡久利 墨画「幼名帖」



● 寺山修司と競馬
競馬が好きだった寺山修司は、競馬にまつわる作品を数多く残しました。競馬をギャンブルから文化・文芸へ引き上げたとも評されています。

● 佐藤紅緑と馬
佐藤紅緑は競馬が好きで、馬主でもありました。



寺山修司と名馬ミオソチス

この他にも様々な作家や動物を紹介しています！

「あおりもりどうぶつ写真展」

「あおりもり×どうぶつ」をテーマに、高校生が撮った写真を展示します！

「動物愛護写真展」

保護犬・保護猫の写真や動物愛護に関するパネル・著作を展示します！

「あおりもり文学ゼミ」

令和7年12月21日(日) 14:00～15:30

県立図書館4階 研修室 ※参加無料・予約不要

企画展「作家とどうぶつ」の内容を職員が詳しく解説します！

参加者全員に
クリアファイルを
プレゼントします！

